

# 浦安の舞

10時30分頃～  
健速神社にて

# 宮出し

11時30分頃～  
健速神社にて

# 石段下り

11時30分頃～  
健速神社にて

# 子ども乗せ

15時30分頃～  
鹿嶋町通りにて

「浦安の舞」は、健速神社祇園祭の冒頭に奉納として行われる舞で、地元田町・本町・六供区の女の子が舞う女舞。舞は、前半の「扇舞」、後半の「鈴舞」で構成される。舞姫を務めるのは、小学6年生と決まっており、この例大祭に向けて日々練習を積み、当日を迎えている。

神輿練りの始まりを告げる「宮出し」。

神輿を担ぐ神輿係が、「ヨイヨイ」の掛け声とともに一同に気合いを最高潮まで高める。観衆を含む全ての空間に一瞬にして緊張が走るさまは、健速神輿ならではの空気感といえる。

その後、神輿を激しく揺らし、廻し、拝殿から出る。神輿練りの始まりは、余りにも唐突に、そして豪快に行われる。

健速神社祇園祭の神輿練りにおける見どころの一つ「石段下り」。

健速神社に伸びる急な階段を見下ろして、神輿は一旦、態勢を整える。神輿係の頭領である総代が出発の合図を出すまでの間、神輿は静止し、多くの観衆がカメラのシャッターを切る。それほどまでにこの一瞬は観衆の目を神輿に釘づけにする。

総代の扇子の合図とともに神輿が石段を駆け下るが、神輿係にとって最も危険な場面で、全ての観衆が固唾を呑んで見守る。

石段下りを無事に終えた途端に湧く大歓声は、勇壮な石段下りであった証し。

石段下りの勢いそのまま、休むことなく進む神輿に引き寄せられるかのように、観衆は神輿の後を追う。

所々に希望により子ども達を神輿に乗せることができる。

これは、小さい子どもたちのこれからの健やかな成長と安全を祈願する習わしである。子どもにとって、神輿に乗ることは少々怖さもあり、泣く子どもも多い。それもまた一つの記念になるため、ぜひともお子さんがいる家庭にはお勧めしたい。

